

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E111B007		小学校学級指導演習 (Seminar in Class Instruction in Elementary School)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	3	教育学部			氏名 伊藤安浩、住岡敏弘 E-mail yasuihiro-ito@oita-u.ac.jp, sumioka@oita-u.ac.jp 内線 7636, 7532										
授業の概要	教育実習の振り返りを行うとともに、その経験に基づいて、児童の実態や状況に応じた学級指導、生徒指導、学習指導のあり方についての理解を深める。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 学級担任の仕事全般を理解する。																
目標2 児童一人ひとりの学級生活上の問題を理解する。																
目標3 児童を集団としてまとめていく基本的方法を理解する。																
目標4 学級や児童の実態に応じた授業の基本的な指導技術を理解する。																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 オリエンテーション(担当:住岡敏弘、伊藤安浩)																
2 学級担任の仕事(担当:住岡敏弘)																
3 児童理解(担当:住岡敏弘)																
4 学級経営(担当:住岡敏弘)																
5 児童理解と学級経営のグループ討議(担当:住岡敏弘)																
6 学級指導(担当:住岡敏弘)																
7 生徒指導(担当:住岡敏弘)																
8 学級指導と生徒指導のグループ討議(担当:住岡敏弘)																
9 児童の実態と授業(担当:伊藤安浩)																
10 学級の実態と授業(担当:伊藤安浩)																
11 授業研究1(担当:伊藤安浩)																
12 授業研究1のグループ討議(担当:伊藤安浩)																
13 授業研究2(担当:伊藤安浩)																
14 授業研究2のグループ討議(担当:伊藤安浩)																
15 まとめ(担当:伊藤安浩、住岡敏弘)																
ラーニング チェック ポイント グループ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	教育実習の経験を振り返るとともに、その経験に基づいて、児童の実態や状況に応じた学級指導、生徒指導、学習指導のあり方について、個人で発表したり、グループで討議する。										工夫 その他				
時間外学習 の内容と時間 の目安	準備 学修	・指定された図書を通読してくる。(20h)														
	事後 学修	・授業内容を振り返り、学習内容の整理を行う。(25h)														
教科書	適宜、資料を配付する。															
参考書	小学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省)、生徒指導提要(平成22年3月 文部科学省)等															
成績 評価 の 方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	小レポート	10%														
	期末試験	90%														
注意事項	この授業科目は教員養成コア科目(教育実習[本免]の省察科目)であるので、実習同様、遅刻や欠席については厳しく取り扱う。															
備考																
リンク																
	URL															